

## 第 84 回デメンシアカンファレンスを開催

2022年5月31日

5月31日（火）に金沢大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第84回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「亜急性に高次脳機能障害と歩行障害が進行した自己免疫性髄膜脳脊髄炎の一例」のタイトルで、金沢大学からの症例報告で進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子とスライド

## 第88回デメンシアカンファレンス 報告要旨

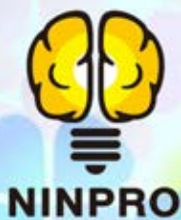
### 『亜急性に高次脳機能障害と歩行障害が進行した自己免疫性髄膜脳脊髄炎の一例』

発表者：坂下 泰浩（金沢大学脳神経内科学）

司 会：島 綾乃（同上）

#### 【要 旨】

症例は65歳男性。急性に出現した発熱，頭痛，吃逆のため入院した。神経学的に協調運動障害，振動覚低下，歩行障害，排尿障害を認めた。血清中のsIL-2Rは上昇し，脳脊髄液検査ではリンパ球優位の細胞増多を認めた。MRIではT2強調像で大脳皮質下白質，頸髄・上位腰髄に高信号域を認め，FDG-PETでは脊髄の同部位に異常集積を認めた。腰髄の病変部から生検を行い，自己免疫性髄膜脳脊髄炎の診断でステロイドパルス療法を行ったところ症状は改善した。その後脳脊髄液中の抗GFAP $\alpha$ 抗体陽性が判明し，GFAP-Aと診断した。神経病理学的にHE染色では髄膜および脊髄の小血管周囲にリンパ球を主体とした炎症細胞浸潤を認めた。脊髄実質にもリンパ球が浸潤し，グリオシスを伴った。KB染色では病変部の髄鞘染色性が低下していた。免疫組織化学的にリンパ球はCD3+のT細胞であった。病変部ではMBPの染色性は低下，AQP4の染色性は亢進し，GFAP陽性を示すアストロサイトの増加を認めた。異型細胞は認めなかった。血管周囲にTリンパ球を主体とした炎症細胞浸潤を認め，周囲の脱髄を伴った点はこれまでの脳病理所見の報告と合致する。類縁疾患の脊髄病理所見として，視神経脊髄炎では病初期からAQP4の染色性が低下するが，MBPおよびGFAPの染色性は保たれる。一方で多発性硬化症(MS)ではMBPの染色性が低下するがAQP4はむしろ亢進し，GFAPも保たれる。本例における病理所見はMSに類似しており，背景に類似した病態が存在する可能性がある。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

# 第84回デメンシアカンファレンス(Web)

2022年5月31日(火)18:30~

## 「亜急性に高次脳機能障害と 歩行障害が進行した 自己免疫性髄膜脳脊髄炎の一例」

発表者：金沢大学附属病院脳神経内科 坂下 泰浩

担当：金沢大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の  
医療関係者（医療系大学の学生含む）

### 【参加方法】

### 個人のパソコンからWeb会議システム(WebEX)を使用

- ・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。
- ・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。
- ・上記以外で参加を希望される方は5月30日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

([ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp))

### 【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:[ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp) URL:<http://ninpro.jp/>